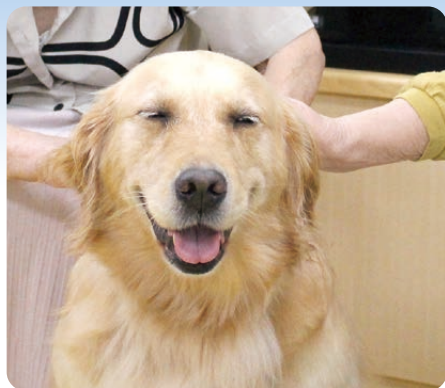


2. 笑顔を届ける活動

心に癒しを



セラピー犬とふれ合うことで心が癒され、笑顔と癒しを提供するとともに、セラピー犬をさわると血圧が落ち着いたり、不登校児やお年寄りなどドッグセラピーを必要とする人は多く社会的にも必要とされてきています。



ドッグセラピー活動

高齢者施設にセラピー犬と訪問し、犬を飼うことができない高齢者とセラピー犬がふれ合うことで、高齢者が笑顔に。高齢者の違う一面を見た職員も笑顔に。人から触られることが大好きなセラピー犬も笑顔になる活動。



子ども食堂

子どもたちが大学生から宿題を教えもらい、犬を飼いたくても飼えない子どもたちがセラピー犬とのんびり過ごし、地域のみなさんと安心して過ごせる第3の居場所。



犬カフェ

セラピー犬とふれあうことで日常から解放。心と体がリフレッシュされ、犬のことに詳しいスタッフに毛の抜ける犬種、抜けにくい犬種等、これから飼う方の相談の場にもなる犬とふれ合えるカフェ。

3. 正しい理解の普及

犬猫殺処分ゼロを実現する



保護をして里親を探す 緊急支援は大事なことです!

私たちが犬猫殺処分問題と関われることは、犬が捨てられない世の中にする事です。そのために、お世話や躾の重要性、自身のライフスタイルにあった犬を探す、飼うなら最後まで終生飼養の責任の大切さを広めています。



犬猫殺処分ゼロ活動

お世話やしつけの重要性。自分のライフスタイルに合った犬を探し、飼うなら最後まで終生飼養を考慮してもらおう啓発活動。



ドッグ介在教育

子どもたちにセラピー犬を介して「いのち」の大切さや他者への思いやり、自然環境に対する興味と配慮。生き物に関する知識を知る機会を提供。

活動を次世代に繋げる

犬と高齢者がふれあうことで認知症患者の心理・身体・社会性が向上していること。20年ひきこもりだった方が、犬に会うために就労場所まで出れるようになり仕事ができるようになった事例等の講義を西南学院大学をはじめ大学で行っています。

